

2018年4月1日～2018年10月5日の間に 当科において学生実習を受けられた薬学生へ

—「術後疼痛管理に関する学生実習に対する評価研究」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 薬剤部 教授 千堂 年昭
研究分担者 岡山大学病院 薬剤部 准教授 北村 佳久
岡山大学病院 薬剤部 薬剤主任 猪田 宏美
岡山大学病院 薬剤部 薬剤主任 楨田 崇志

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

薬学教育モデル・コアカリキュラムでは、病院実習において周術期における適切な薬剤師の関与が説明できることや多職種でのチーム医療を体験することが求められています。周術期医療において術後の痛みの管理は患者の早期離床を促すために非常に重要である。現在、岡山大学病院（以下当院）では手術室担当薬剤師が術後の強い痛みをとる薬剤セット（Patient Controlled Analgesia；以下PCA）の調製および手術翌日の多職種によるPCAラウンドを実施しています。そこで、周術期医療における薬剤師の関与について学生の理解を深めるために、今年度より薬学実務実習生を対象とした術後の痛みの管理に関する実習を開始しました。本実習後には、実習に対する評価と改善点を明らかにするためにアンケートを行っています。今回、現状の問題点を確認し、今後の実習を改善していく目的で、アンケートの解析（CS解析、t検定、順位和検定など）を行うこととしました。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により将来の薬学実務実習がよりよいものとなる可能性があると考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2018年4月1日～2018年10月5日の間に岡山大学病院薬剤部において実務実習を受けられた薬学生32名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2020年3月31日

3) 研究方法

2018年4月1日～2018年10月5日の間に岡山大学病院薬剤部において実務実習を受けられた薬学生の方に対して実施した術後疼痛管理実習に対するアンケートを集計し、統計解析を行い、実習の改善点を抽出します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、すでに回答いただいているアンケートを使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 実習内容、アンケート

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院薬剤部内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2018年12月末日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 薬剤部

氏名：槇田崇志

電話：086-235-7652（平日：8時15分～17時）

ファックス：086-235-7796